

まちの話題

▶古賀校長から卒業証書を受け取る卒業生



3月13日、各小中一貫校中学部で卒業証書授与式が行われ、中学部9年生211人に卒業証書が授与されました。このうち東部校では、36人が卒業を迎え、保護者や教員、来賓が見守るなか、古賀一哉校長から卒業証書を受け取りました。

古賀校長は「“1人ひとりが主人公”のスローガンのもと、新たな歴史を作ることにより全力を傾けてくれました。つらいときは東部校を思い出して勇気をふるい立たせてください」と言葉を贈りました。

式後、生徒会主催で卒業生の門出を祝う手配りの式典が行われ、在校生を代表し、生徒会長の駒井俊平さんが「歩む道はそれぞれ違いますが、東部校で過ごした仲間、養った精神力で困難を乗り越えてください」と送辞を述べました。

また、卒業生を代表し、松本利幸さんが「毎日を楽しく過ごし、たくさんの思い出を作ることができたのは共に高め合い、認め合った仲間がいたからです。これからは中学校生活で学んだことを糧に夢を実現します」と力強く答辞を述べました。

▶家族への感謝や将来の夢について発表する卒業生



東部校中学部卒業式

1人ひとりが主人公のスローガンを胸に、母校を巣立つ

2月28日、中央公民館で多久市文化連盟（会長 吉浦啓一郎）文化功労者表彰式が行われ、11人が受賞されました。

これは、多久市文化連盟活動の促進の一環として行われているもので、芸術文化の振興に貢献した者や顕著な功績があった者に授与されています。

受賞者は、以下のとおりです。（敬称略）

芸術文化功労賞

伊藤 ツユ子（音楽協会）
山本 正人（囲碁将棋連盟）

芸術文化賞

野田キヌ子（音楽協会）
富永 敏明（音楽協会）

芸術文化奨励賞

中山 和成（音楽協会）

芸術文化寿賞

山崎 芳子（音楽協会）
副島 健三（美術協会）
吉浦 八重子（日本舞踏連合会）

芸術文化特別賞

孔子の里芸能保存会 釈菜の舞部門
（代表 梶原 悦子）
田久保 ヒサエ（音楽協会）
尾形 節子（美術協会）

平成26年度多久市文化功労者表彰式

多久市文化連盟から芸術文化への功績に対し表彰

▶記念撮影する受賞者のみなさん



3/15 Sun.

地域の火災予防啓発に対し表彰



第61回佐賀県消防大会（佐賀県、公益財団法人佐賀県消防協会主催）が基山町民会館で行われ、さくらんぼ保育園幼年消防クラブに優良クラブとして、佐賀県知事から感謝状が贈呈されました。

これは、さくらんぼ保育園幼年消防クラブの園児が、火災予防期間中の通園時に防火法被を着用し、市民に対して防火思想の普及宣伝に貢献したほか、出初め式では防火に対する誓いの言葉の宣誓を行うなど、消防防災活動が認められたものです。

幼年消防クラブのみなさんおめでとうございます。

3/7 Sat.

“地域で愛される場所に” 障害者支援センター開業&収穫祭



食と農をテーマに、就労継続支援、就労移行支援、生活介護を柱に、障害者の社会参加を援助する障害者支援センターまや（社会福祉法人もやいの会理事長：川副春海）が4月1日に旧南部小跡地に開所されました。

開所に先立ち、3月7日、地域住民を対象に施設見学や開業セレモニーが行われ、約400人が参加。福岡県内の障害者グループによる演奏会や、物産展、豚汁の振舞いで来場者をもてなしました。川副理事長は「今後、センター内で収穫した野菜や、焼き菓子の直売所を設けたいです」と展望を語りました。